

学校教育目標

1. 真理と学問を愛し、豊かな知性に基づいて正義と道徳とを重んずる精神を育成する。
2. 清純高潔な品性と豊かな趣味とを育成する。
3. 自分を理解し愛するとともに、自然及び他人に対する深い理解と愛情とを養う。
4. 勤労の価値を自覚し、積極的に活動する人間育成に努める。
5. 健康な身体と明朗で寛容な態度を養い、何事にも全力を尽くせる人間形成に努める。

中・長期的目標

1. 基礎学力の定着を重視し、多様な進路希望の実現を目指す。
2. 基本的な生活習慣を確立し、社会の一員としての自覚をもたせる。
3. 特別活動を通して、心身の調和を目指す。
4. 保護者・地域に開かれた学校作りを進める。

本年度の重点目標

1. 授業を充実させ、生徒の学習習慣の確立と生徒が希望する進路実現を目指す。
2. 主体的・対話的で深い学びを目指し、授業改善に取り組む。
3. 規範意識と自他を敬愛する心を育て、いじめ・体罰等のない安全で安心な学校づくりを目指す。
4. クラブ・生徒会活動の充実と切磋琢磨する校風の醸成を目指す。
5. 保護者・同窓会・地域などと連携・協働し、開かれた学校づくりを目指す。

A：良い B：おおむね良い C：普通 D：やや不十分 E：不十分

評価項目	評価の観点	A	B	C	D	E	学校全体として改善点と向上策
1-1 授業の充実	a シラバスに沿って計画的に授業を進めることができたか。	10%	25%	50%	15%	0%	ICT機器を活用する授業が増えてきているので、生徒の理解が深まるよう更に工夫し充実した授業にしていく必要がある。自習の場合でも十分に学習できる体制づくりが必要である。
1-2 学習習慣の確立	a 各種検定や資格試験を積極的に受験させたり、各教科の日々の課題を適切に課すことができたか。	0%	45%	45%	10%	0%	検定前の学習時間を確保して臨み、結果を出すことができた。更に積極的に受験するように働きかけていく必要がある。
	b 補習や考査前学習集中週間等により学習環境を整え、学習時間を増やすことができたか。	0%	25%	45%	30%	0%	考査前学習集中週間にはしっかり学習に取り組まない生徒が多い。この期間のあり方、指導の仕方を工夫する必要がある。
1-3 キャリア教育の充実	a 各学年に応じた進路意識を高める取り組みを実施することができたか。	10%	30%	50%	10%	0%	講演会や進路ガイダンスを実施し、生徒の意識を高めることができた。事後指導のあり方も考えていく必要がある。
	b 就業体験活動への参加を促すことができたか。	5%	20%	65%	10%	0%	就業体験への参加者が少なかったため、働きかけが必要である。会社見学は有効であった。
1-4 多様な進路希望への対応の充実	a 教育課程、学習指導、教材選択など様々な角度から多様な進路希望への対応を検討できたか。	10%	30%	50%	5%	5%	3年の特編授業が必要な生徒はごく少数なので、個別指導等も検討する必要がある。
	b 多様な進路選択に対応するため、生徒の希望を的確に把握した個別指導をできたか。	5%	35%	55%	5%	0%	生徒が自分の進路目標を明確にするまでの働きかけを丁寧にし、安易な選択者や未定者に方向付けをする必要がある。
2-1 授業の改善	a 授業公開などを通じて、授業の方法を研究しあうとともに、授業評価をもとに自らの授業を省みて授業改善に努めたか。	10%	50%	30%	10%	0%	授業を互いに見合う期間を設けたが十分とはいえなかった。各自授業改善に取り組んでいるので、さらに授業評価に反映されるよう工夫を続けていく必要がある。
	b 授業中にICTを活用し、生徒の理解を深めるなどの授業を展開することができたか。	15%	40%	30%	10%	5%	ICT機器の活用は増えてきているので、更に使いやすく工夫していく必要がある。
2-2 主体的・対話的で深い学びの実現	a 生徒の思考を広げ、深めるために、生徒が自ら考えたいような課題設定や問いかけを行うことができたか。	0%	30%	65%	5%	0%	教科によって少しずつ取り入れている。授業改善の一つとしてさらに意識して授業づくりをしていく必要がある。
3-1 生徒の規範意識の向上	a ネット上のトラブルやいじめ等の防止のために啓発をするとともに、年3回のいじめアンケートを活用していじめがない学校にすることができたか。	5%	35%	30%	20%	10%	啓発やアンケートは実施できている。日常的に些細なことでも見逃さず、指導の手を入れることを継続する必要がある。
	b 諸問題を早期発見するために、年2回の学校生活アンケートを実施して面接週間に活用するなど日常的に生徒理解に努めることができたか。	5%	40%	40%	10%	5%	アンケートは実施できた。担任、教科担当、クラブ顧問などさまざまな立場で見逃さない姿勢が必要である。
	c 交通安全や交通マナー向上の意識を啓発できたか。	5%	25%	50%	20%	0%	自転車安全モデル校として取り組めたことを継続的に行うことで意識を高めていく必要がある。
	d 携帯・スマホの授業中の扱いについて適切に指導できたか。	0%	5%	30%	35%	30%	職員により指導の差が大きい。どのような指導が効果的なのか意識統一をはかり、全体で取り組む必要がある。
3-2 身だしなみの改善	a 身だしなみ(頭髪、ピアス、サンダル登校等)を中心に日常的に指導できたか。	0%	20%	25%	30%	25%	改善が進んでいない。すべての職員が日常的な指導に取り組むとともに、実態を把握した上で指導の方法についても検討が必要である。
3-3 清掃の徹底と、環境・衛生面の向上	a 清掃の徹底を図り、美化に努めることができたか。	0%	15%	40%	35%	10%	清掃場所によって差が見られた。すべての職員が生徒と共に環境美化に意識的に取り組む必要がある。
	b 校内環境に気を配り、改善できたか。	5%	20%	45%	20%	10%	校内環境が向上したところも多く見られた。すべての職員が生徒と共に環境美化に意識的に取り組む必要がある。
4-1 クラブ活動の充実	a クラブへの加入を積極的に促すことができたか。	0%	10%	75%	10%	5%	加入率が下がり、退部する生徒も見られる。クラブ活動の在り方について共通認識を持って取り組む必要がある。
	b クラブ活動の充実に努めることができたか。	0%	30%	60%	5%	5%	クラブによって差が見られる。顧問会で状況を確認し、意識して取り組む必要がある。
	c 部室、使用施設の適正な使用を促せたか。	0%	30%	50%	10%	10%	目が行き届かないところがないよう、顧問会で状況を確認し、意識して取り組む必要がある。
4-2 生徒会活動の充実	a 日常の委員会活動を充実させることができたか。	0%	35%	65%	0%	0%	充実した取組みが見られる委員会もあるが、さらに生徒への働きかけを行い新たな活動にも挑戦していけるようにする。
	b 対外的な活動、ボランティア活動等を通して、生徒会活動の充実をはかることができたか。	5%	25%	70%	0%	0%	生徒会本部役員は意欲的に取り組んでいたため、役員以外の生徒の参加を増やしていけるようにする。
5-1 広報活動の充実	a 学校・学年・クラス等、それぞれの立場から地域や保護者・同窓会への情報発信ができたか。	0%	35%	60%	5%	0%	HPを活用して、情報発信を頻繁に行う必要がある。また、「日滝の杜たより」も発行回数を増やす。